

# 資源ごみ 買い取り 足立区が支援制度

東京都足立区は民間のリサイクル業者による資源ごみの買い取りを支援する制度を創設した。民間事業者が開く買い取り市に区民が自主的に資源ごみを持ち込む仕組みで民間業者による回収を促し、行政負担の軽減を目指す。第1弾として3事業者に補助金を出す。

「資源ごみ買取市」は

区内の白井エコセンターが資源価格の上昇を背景に昨年8月に始めた事業。買い取り価格は7月の場合、新聞が1キログラム8円、ペットボトルは同15円などで、1人当たりの平均買い取り額は858円だった。

買取市は月1回開き、毎回100人前後が来場するなど好評だった

め、区が支援することにした。9月からは新井商店綾瀬営業所、東京都環境リサイクリング事業者同組合の区内2事業者も、区の支援を受けて月1回買取市を開く。買い取り価格は各事業者が独自に設定する。